

2019年公益財団法人日本バドミントン協会 ジュニア日本代表選手選考基準

ジュニア日本代表選手は、将来、日本代表選手として、オリンピックをはじめとする、国際大会で活躍できる選手を発掘・育成するため、U19、U16、U13それぞれ下記内容の選考基準で選考し編成する。

U19 男女各18名程度

1) 競技実績(平成30年度)

高校2年・1年

全日本ジュニア選手権

全国高等学校選手権

国際大会(日本協会派遣事業)

中学3年

全日本ジュニア選手権

全国中学校体育大会

国際大会(日本協会派遣事業)

2) 選考会ゲーム成績

3) 身体能力測定結果

4) コーチ評価

※上記1) 2) 3) 4)を踏まえ、総合的に判断する。

U16 男女各18名程度

1) 競技実績(平成30年度)

中学2年・1年

全日本ジュニア選手権(ジュニア新人の部)

○全国

中学校体育大会

○国際大会（日本協会派遣事業）

小学6年

○全国小学生 ABC 大会

○全国小学生大会

○国際大会（日本協会派遣事業）

2)選考会ゲーム成績

3)身体能力測定結果

4)コーチ評価

※上記1) 2) 3) 4) を踏まえ、総合的に判断する。

U13 男女各 18 名程度

1) 競技実績（平成30年度）

○全国小学生 ABC 大会

○全国小学生大会

○全日本ジュニア選手権(ジュニア新人の部)

○国際大会（日本協会派遣事業）

2)選考会ゲーム成績

3)身体能力測定結果

4)コーチ評価

※上記1) 2) 3) 4) を踏まえ、総合的に判断する。

選考会招聘基準（大会等は平成30年度開催）

U19

- ① 現ナショナルチーム U19 メンバー
- ② 2年生：インターハイ及び全日本ジュニアにおいてシングルスベスト8・ダブルスベスト4以上
1年生：インターハイ及び全日本ジュニアにおいてシングルスベスト16・ダブルスベスト8以上*ただし、1年生同士のペアのみを該当とする
- ③ 中学3年：現ナショナルチーム U16 メンバー
- ④ 全国中学校シングルスベスト8・ダブルス1位
- ⑤ 全国高体連バドミントン専門部より若干名（2・3名）を推薦
- ⑥ 強化部推薦若干名

ただし、以下の競技実績を有する者は、内定選手とし選考会を免除する。

- ナショナルチーム A 代表または B 代表に選考された者
- 世界ジュニア選手権ベスト4以上（シングルス・ダブルス）の入賞者
- アジアユース U19（高校2年・1年）優勝者（シングルス・ダブルス）
- アジアユース U17（中学3年）優勝者（シングルス・ダブルス）
- 全日本ジュニア選手権優勝者（シングルス・ダブルス）
- 全国高等学校選手権優勝者（シングルス・ダブルス）
- 全国中学校体育大会優勝者（シングルス）

U16

- ① 現ナショナルチーム U16 メンバー
- ② 全日本ジュニア選手権ジュニア新人の部シングルスベスト8

③ 全国小学生 ABC 大会 A クラス 1 位, 2 位

全国小学生大会 6 年生以下シングルスベスト 8 ・ダブルス 1 位

④ 強化部推薦若干名

ただし、以下の競技実績を有する者は、内定選手とし選考会を免除する。

○アジアジュニア U15 (中学 2 年・1 年) 優勝者 (シングルス)

○全日本ジュニア選手権ジュニア新人の部優勝者 (シングルス)

○全国中学校体育大会優勝者 (シングルス)

○全国小学生大会優勝者(シングルス)

U13

① 現ナショナルチーム U13 メンバー全国 ABC 大会 B クラス 1, 2 位

② 全国小学生大会

4 年生以下シングルスベスト 8

4 年生以下男子ダブルス 1 位

5 年生以下シングルスベスト 8

5 年生以下ダブルス 1 位

③ 強化部推薦若干名